

6

広報活動

自治振興会長の 皆さん

ン・スカッシュ・お茶など)

◎平和学習・// | 原爆展

(手芸・太極拳・デジカメ・パソコ

⑦大人の教室

⑥自治振興会の支援

5

側面支援

南ゆき 東油木 い 西 城 ち油木 安田 源流の里しんさか

前原 赤木 内藤 松岡

②サークル活動

①放課後子ども教室

③青少年健全育成

4

生涯学習の推進(ゆきなび)

油木スポーツ広場)

②油木多目的グラウンド ①油木コミュニティーセンター

矢田貝 光男 行博 則 孝史 菊二 栄 純 夫

④現代的課題の学習

(人権学習)

⑤各種社会教育団体の支援

29 年度

3 2

長期事業計画の推進

指定管理施設の管理

平成

い、議案は全て承認されました。 の事業計画案、予算案の説明を行の後、28年度の事業報告、29年度の議会議長 松本彰夫様のご祝辞 報会議長 松本彰夫様のご祝辞 4月28日(金)平成29年度通常

1 ①総会 各種会議の開催

④事業テーマごとの運営会議 ③円卓会議 ②幹事会 ⑤特産品開発研究会 ⑥生涯学習の推進会議

油木協働支援センター 事業計画

平成

29

年度

通常総会開催

平成29年

第6号 平成 29 (2017) 年 6月発行 油木協働支援センター 0847-82-0701

自治振興会長

①油木ふるさとまつり等行 各種団体活動・地区内行事の ②地区文化祭等文化伝統の支援

の側面支援

平成 28 年度 収支決算報告

収入 合計	31,183,284
支出 合計	24,841,342
差引	6,341,942

## 収入の部

町交付金	20,320,000
町補助金	10,862,595
雑収入	689
合計	31,183,284

## 支出の部

人件費	16,200	臨時雇用賃金
幸民酉州	2,000,000	10 自治振興会長報酬
費用弁償	532,000	円卓会議・策定委員会等
事務費	566,047	
負担金補助及び交付金	20,046,595	各振興会運営費等
まちづくり助成金	1,672,000	ふるさとまつり
		南ゆき東屋等
予備費	8,500	
合計	24,841,342	

平成 29 年度 収支予算

収入 合計	41,390,000
支出 合計	41,390,000
差引	0

## 収入の部

町交付金	18,514,000
町補助金	16,476,915
平成 28 年度 繰越金	6,341,942
雑収入等	47,143
寄付金(ふるさと納税)	10,000
숨計	41,390,000

## 支出の部

人件費	5,418,000	センター職員分
幸民酉州	1,800,000	9 自治振興会長報酬
費用弁償	390,000	幹事会•専門部会等
事務費	1,145,000	
事業費	4,368,000	長期事業計画 29 年度分
負担金補助及び交付金	20,198,915	各振興会運営費等
まちづくり助成金	7,770,000	ふるさとまつり等
予備費	300,085	指定管理施設会計等
合計	41,390,000	

生涯学習部のイメージキャラクターとして、 『ゆきしろう』が誕生しました。

ゆきしろうは、肌が油木に降る雪のように白く、 油木のことをいつも知りたいと思っている元気 な男の子です。広報誌やホームページ等に登場 しますので、『ゆきなび』同様よろしくお願い致

可愛がってね



ゆきなび です。

油木協働センターがまなびをnavigate (導くとい う意味) する場所であり、また油木の住民の皆さ んが自らの人生をnavigate (導く) するために、 積極的に学んでいただきたいという想いを込め て、決定いたしました。

決まりました! 生涯学習部(公民館) の名称が

ご参加

待って

まーす



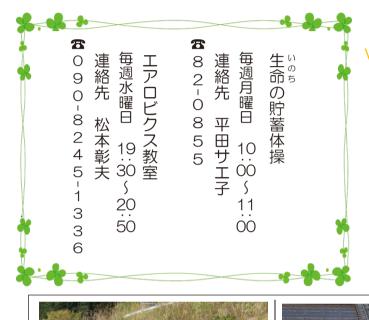
自然を楽しむ会 5月27日 高原のそよ吹く風を感じながら、全員、権現山ま で登りました。

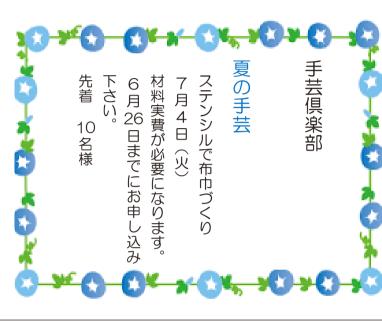


5月20日 キッズ英会話教室 3 時間の長時間でしたが、皆で楽しみ、あっと いう間に時間が過ぎました。



5月13日 キッズ料理教室 美味しいホットケーキがたくさん焼き上がり ました。









5月14日 小野大運動会



東油木田植え交流会

5月14日



クルメンバー募集中

5月28日 油木地区スポーツ祭



5月21日 仙養ふれあい運動会

昭和47年には、当地方で集中豪雨に見舞わ

大きな被害が出ました。国道82号線は平

井から東城方面が通行止めとなり、迂回路に

方面へと四方八方へ抜けられるようになりま

なり、貝原からは油木・東城・豊松・備中湖

その後、車社会が訪れて道路が大切な動脈と

ても当時は車を持った家はほとんどありませ 動車で行かれるようになりました。とはいっ 向けて町道出佐線が開通。ようやく油木へ自

油木協働支援センターのホームページ・フェイスブックにはその他多くの写真を掲載しています。

過ごしやすい季節ですね。鳥たちの鳴き声を聴

頑張ってまいります。 くり読んでいただければ幸いです。 今回の『ゆきの灯り』はいかがでしたか。ゆっ たところです。 ました。少しずつ慣れ、仕事も楽しくなってき 協働支援センターで働き始めて2か月が過ぎ 高原町に来てよかったと心から感じます。 きながら、美しい緑の山々を眺めるとき、神石

きの灯り』としていけるように、センター一同 ています。そしてその灯りを集めて、大きな『ゆ 着火剤のような役割を担っていきたいと考え 油木協働支援センターは住民の皆さん一人一 人の心の中にある灯りを灯してもらうための

編集後記 久 保

改良はどんどん遅れるばかりでした。 の改良が早まるかも。と、淡い希望も空しく 日続きました。これを辛抱すれば少しは道路 町道出佐線が使われました。狭い道路に車が いっぱい行きかい、かわすのに大変な日が数

貝原地獄の話 そのニ 赤木 健二

昭和2年には、東城や豊松へ抜けられるよう

になりました。その後、昭和3年には油木へ